

## 「脱炭素」「防災」への社会的要請の高まりを受けて

- ◆ 政府は、CO2排出量を「2050年までに実質ゼロ」とする方針を表明
- ◆ 当社は、「2030年度までにCO2排出量を2013年度比で半減」する目標を設定

- ◆ 脱炭素社会の実現には、  
電源側の取組（再エネ、原子力、ゼロエミッション火力）に加えて、  
「顧客サイド」のエネルギー利用における「脱炭素化」の推進が必要不可欠
- ◆ 自然災害が激甚化する中、  
お客さまに、災害時にも生活や事業を継続できる「安心」の提供が大切

「脱炭素」と同時に「防災」という新たな価値を提供

カギは『**電化**』

## 電化によって実現できる『**3つの価値**』

- ・再エネをエネルギー源とした脱炭素としての価値
- ・再エネ普及時の需給調整機能としての価値
- ・災害時に活用できる自立電源としての価値

## 「脱炭素」「防災」に寄与する「新しい電化」を事業展開

- ・新しい電化の導入をお求めやすいパッケージメニューでご提供
- ・日常・非日常のあらゆるシーンで安心を司るプラットフォームを整備

# 「新しい電化」の取組：お求めやすいパッケージメニューのご提供

～環境に優しい電気を、便利にスマートに使える新しい電化メニュー～

◆2021年度上半期中に、本パッケージメニューの提供開始

<パッケージメニューイメージ>

平時はスマート  
に再エネ利用

太陽光発電

災害時も  
電気が使える

エコキュート

EV

V2H

蓄電池

AIによる最適制御

新しい電化設備のサブスク型サービス



新しい  
料金メニュー

- ・再エネ価値
- ・調整力価値

パッケージ提供



- ・省エネで環境にも優しい
- ・停電時にも安心
- ・設備を長期に定額で
- ・トータルでお安く利用

# 「新しい電化」の取組：宅内IoTプラットフォームの整備による防災DX

～安心と快適な暮らしを支えるプラットフォームを整備～

◆2021年度から実証試験を開始

＜プラットフォームイメージ＞ 開発中

防災情報等

宅外ネットワーク

電気火災・  
ガス漏れ等を検知

TEPCO

電力系統

スマートメーター

双方向通信

スマート  
分電盤

通知・駆け付け

宅内ネットワーク

AIスピーカー

家電のコントロール  
故障予知

火災報知器  
ガス検知機

宅内IoTプラットフォーム

- ・火災につながる異常の検知、安全遮断
- ・災害時の情報受発信
- ・快適な日常をサポートするコントロール機能
- ・宅内情報を把握、情報の通知やかかけつけ